

令和元年度第3回ふるさと向日市創生計画委員会 議事要旨

日 時：令和2年1月23日（木）午前10時から11時40分まで

場 所：向日市役所本館3階 大会議室

出席者：（委員）

中村委員長、西川委員、高橋委員、山本委員、岩崎委員、山舗委員、松井委員、
青山委員、大釜委員 ※欠席 和田委員

（事務局）

清水ふるさと創生推進部長、鈴木総務部長、山田環境経済部長

水上市民サービス部長、今井建設部都市計画課長、巖嶋上下水道部長

小賀野教育部長

伊藤企画広報課長、内海係長

（傍聴）

1人

1 議題

（1）第2次ふるさと向日市創生計画案について

①事務局から資料説明

第2次ふるさと向日市創生計画案について説明。

②意見交換

（委員）

- ・ 教員の働き方改革はどう進めるか。

（事務局）

- ・ ICカードで在校時間の把握を始めている。やはり時間がない中で、子どもたちと触れ合う時間の確保が必要であると考えており、会議の精選や電話受け付け時間の制限などを行っているところ。

（委員）

- ・ 商工業の活性化は商工会との連携が重要だが、向日市商工会は、退会される方と入会される方がほぼ同数。退会される方は廃業か移転。創業希望者には創業塾等実施しているがなかなか成果が出てこない。市と連携が必要と考えているが、そのあたりの考え方は。

（事務局）

- ・ 商工会や創業希望の方々の思いをできるだけ多く聞いて、どういう方法が今の時代に合うのかなど一緒に考えさせていただいて、早急にそれを予算化するなり行動していくべきと考えている。

（委員）

- ・ 自らしごとを作って経済活動を行っているが、商工会や行政が手助けしてくれるということを全く知らなかった。地域が活動基盤の小売りではなく、地域の中に何人ほどお客様がおられるかというものでもないということもあってだが、地域で応援という認識はなかった。創業支援の情報を集めた際、向日市というのは引っかかってこなかった。

(委員長)

- ・ 他地域でだが、商工会というのは気軽に行ってもいいところなの？と女性から聞かれることがある。PRが必要。

(委員)

- ・ 女性のための創業支援もある。PRに努めていきたい。

(事務局)

- ・ 市でも商工部門と女性活躍部門の連携が必要と考えている。

(委員)

- ・ 女性活躍センターあすもあの活用についてだが、あすもあのイベントに出た際、参加者の方から、あすもあの所在地や活動内容はどこで見られるのか、シェアしてイベント開催したいがどうしたらいい？フェイスブックはないの？ということをよく聞かれる。検討するとのことだったが、まだフェイスブックページはないのか。なにか課題があるのか。

(事務局)

- ・ PRの工夫が必要であることは認識していて、担当者も一生懸命取り組んでおり、公式インスタグラムは立ち上げたが、フェイスブックはない。

(委員)

- ・ あすもあを活用してイベントを定期的を開催しようとする場合、まずはフェイスブック仲間中心に知らせていこうと考えるが、フェイスブックのページがあれば、位置情報をわざわざ書かなくても手軽にシェアできる。そういった細かいことで、活用しようという気持ちが変わってくるし、シェアし始められたらすぐに情報は広まっていく。

(委員長)

- ・ 行政が行うとなるとどうしても管理の面等で制約が出てくるので、利用者のグループ等が仕組みを作っていくのも重要。他地域でだが、雨の予報に基づいて、イベントへの来場日をずらすよう広めたところ、イベントへの来場者の総数は落ちなかった。新聞等紙媒体を見ない人が増えた現代において重要な手段である。創業に関しては、事務所を持ちたいが京都市内は高いから近隣で探している等のニーズをうまく取り入れられると良いのでは。

(委員)

- ・ あすもあの見学会などはないのか。

(事務局)

- ・ 開館したての頃に実施した。その後は利用の申込み等があった際に随時行っている。

(委員)

- ・ 座談会のようなもので率直な意見を共有し、交流を生み出していくことも大切。

(事務局)

- ・ イベント等の際に直接意見をいただくことも多いので、活かしていきたい。

(委員)

- ・ 通行人から利用方法を聞かれることがあるが、1階はお茶を持ち込んでくつろいでも良いのか。

(事務局)

- ・ 不特定多数の方が自由にというのは難しいが、事前に利用登録が必要だが飲食を伴うイベントは可能。

(委員長)

- ・ 関東の方でだが、子育て中の親が孤独にならないようグループで育児をしていたところが、商品に対する率直な意見が欲しい企業のニーズをとらえて、みんなでお茶を飲みながら企業からの調査費用を得ながら、品評会をするという新しいアイデアが生まれた。活用方法として参考になる。

(委員)

- ・ ぐるっとむこうバスについて、バスを見かけて乗ろうと思っても、どのルートを通るのか、ぱっとはわからなかった。

(委員長)

- ・ 一般的に昔はバスは分かりづらかったが、最近は整備されてきた。グーグルマップ上で検索や運行状況確認をわかりやすく行えるソフトもあり広島や岡山で活用されている。

(委員)

- ・ 広島に実際に行ったが、バス車体の行先表示もオレンジやグリーンなどに色分けされておりわかりやすかった。

(委員)

- ・ 停留所名ではなく地図で確認できる方がわかりやすい。地元の方にとって、ちょっと友達の家に行く場合でも、地図であれば把握できる。

(委員長)

- ・ 全国的にいろいろと活用が模索されている。ぐるっとむこうバスについても活用を色々検討されたい。

(委員)

- ・ 他自治体での話だが、どうしても子ども叩いてしまうということで役場に相談に行ったら、たらい回しにされたと聞いた。向日市の場合は大丈夫か。家庭児童相談室というところに行けばよいか。

(事務局)

- ・ 家庭児童相談室に相談してもらえれば、スタッフが必要な連携をして、場合によっては相談だけでなく訪問など必要な対応をさせていただく。

(委員)

- ・ 小学校で英語やプログラミングの授業が始まる。先生は新しく勉強して準備するのが大変。専門の先生の配置は検討しているか。

(事務局)

- ・ 先生の負担が増えることは認識しており、権限を持つ京都府教育委員会に要望している。

(委員)

- ・ 食育についてだが、子どもにおかしばかり与えるような、親の意識を変えるのが大変だと思う。

(事務局)

- ・ 栄養士がおり、子供に対しては給食の時間等で指導している。保護者に対してはアンケートや学校だよりを通じてお伝えしている。

(委員)

- ・ 共働き家庭等で、親がそこまで余裕がないような場合があると思う。子ども自身が調理できればもちろん良いが。また、日本の農薬使用量のことなど食の安全に関する様々な情報が社会にあるように、栄養はもちろんだが関連する分野も合わせて、子どもたちが食を考えていくようなことは意識しているか。

(事務局)

- ・ 農家の方にご協力いただき、校内や近隣の農園で農作物に触れたり話を聞く機会を設けている。また、授業の中で食の安全について、発達段階に応じたかたちで伝えている。

(委員)

- ・ 本市の農業は最終的にはどのようなかたちになるのか。本市には懸崖菊やポインセチアといった特産品もある。

(事務局)

- ・ 土地の所有者の方が主体となって、集中して農業をする環境を整えたり、土地利用を考えたりといったかたちで進んでいく。
昨年の台風では倒壊したビニールハウスの補修支援等も実施した。今後も皆さまの意見を聞きながら進めていきたい。

(委員長)

- ・ プログラミング教育が始まるが、IT企業の若手エンジニアが中心となって地域の子どもを教えたりする事例もある。食育でも商工業でもそうだが、このような協力関係をうまく進められれば良い。

(委員)

- ・ IT関係の方は、自分の開発したものを伝えたいという思いが強いと聞く。需要と供給をうまくつなげることが重要。

(委員)

- ・ 新しい市民会館と市役所について、活用を幅広く検討する必要がある。竹の径の観光客をレストランに引っ張ってくるなど。

(委員)

- ・ レストランは本当にできるのか。ターゲットとする客層は。

(事務局)

- ・ 市民の方が良いと思ってくださるようなものを作っていきたいと考えており、業者の選定等こ

れから具体的に進めていくところ。

(委員)

- ・ 良いものにするには思いやコンセプトが重要。

(委員)

- ・ 自治会の維持をどうしていくか。

(事務局)

- ・ 自治会も含めて地域コミュニティの活性化は重要と考えており、加入率増加に取り組んでいきたいと考えている。

(事務局)

- ・ 災害対策という面でも共助が重要という認識を広めることも重要と考えている。

(委員)

- ・ 国際交流はどう進めていくか。

(事務局)

- ・ 実際に行き来した方々には交流が生まれているが、どのように市全体に広げるかという難しさがある。時代も変わってきている中で、国際交流の在り方を考える必要がある。

(委員)

- ・ 海外ともSNS等でコミュニケーションが取れる時代。実際に行くとなると経費が発生することも考えないといけない。

(委員長)

- ・ 今後、外国人が増えてくる場合を考えると、文化の相互理解は重要。

(委員)

- ・ 市のホームページは英語版はあるか。

(事務局)

- ・ 英語版に切り替えできる。

(委員)

- ・ マンションの自治会加入はどうなっているのか。

(事務局)

- ・ 連合自治会が開発業者に対して、建設後は自治会を作って連合自治会に加入するよう要請している。

(委員長)

- ・ 状況把握は必要だが、震災を契機に意識は変わってきている。

(委員)

- ・ ワークライフバランスはどう推進していくか。積極的な企業を表彰する等考えているか。

(事務局)

- まだそこまでは考えていないが、各企業での取組みが必要なので、まずは商工会を通じてPR等を進めいきたい。

(委員長)

- 副業の在り方も変化してきているように、働き方も多種多様になってきている。

(委員長)

- 本日の意見を参考に策定を進めていただきたい。

以上

令和元年度 第3回 ふるさと向日市創生計画委員会

日 時：令和2年1月23日(木) 午前10時から
場 所：向日市役所本館3階 大会議室

次 第

1 開 会

2 議題

第2次ふるさと向日市創生計画（案）について

3 その他

4 閉 会

(案)

第2次ふるさと向日市創生計画

向日市

【目次】

序論	1
基本フレーム	3
施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり	5
施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進	6
" 2 産業の活性化	9
" 3 都市基盤の整備	11
施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり	17
施策分野1 少子化対策・子育て支援	18
" 2 健康づくりの推進	19
" 3 高齢者が安心して暮らせる体制の充実	20
" 4 障がい者福祉の充実	21
" 5 地域福祉の充実	22
" 6 地球温暖化防止対策・資源循環の推進	23
" 7 生活の安心・安全の確保	24
" 8 消防力の強化	26
" 9 ライフラインの強化	27
" 10 学校教育の充実	28
" 11 生涯学習の推進	34
" 12 生涯スポーツの振興	37
施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり	39
施策分野1 市民協働の推進	40
" 2 人権・平和・男女共同参画の推進	42
" 3 行財政運営力の向上	44

序論

(1) 計画策定の目的

本市では、「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」「人と暮らしに明るくやさしいまちづくり」「信頼と協働で市民の声が届くまちづくり」の3つを施策の柱とするふるさと向日市創生計画を平成27年度に策定し、まちづくりを進めてきました。

この間、我が国では、少子高齢化の進行による人口減少及び地域活力の低下や大規模災害等への対策が進められておりますが、これらは依然として喫緊の課題であり、本市においても長期的には少子高齢化の進行が見込まれる中、持続可能な社会の実現に取り組んでいかなければなりません。

本計画は、このような状況を踏まえ、社会情勢の変化にしなやかに対応しながら、貴重な地域資源や利便性といった本市の魅力を高め発信するとともに、将来にわたって誰もが安心・安全・健康に暮らし続けられる環境づくりに取り組むことで、本市をより一層発展させ、全ての市民の皆様が向日市のことを「ふるさと」だと思っていただけるまちづくりを推進するため策定するものです。

(2) 計画の位置付け

この計画は、本市が目指すべき方向性を示したまちづくりの最上位計画と位置付けます。

(3) 施策の柱

市民の皆様が誇りを持てるまちづくりを進めていくため、まちの魅力を広く発信する取組や、より一層の地域資源の活用、誰もが快適に暮らし続けられる地域づくりを行っていくため、「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」「人と暮らしに明るくやさしいまちづくり」「信頼と協働で市民の声が届くまちづくり」の3つを本計画における施策の柱とします。

なお、本計画を推進するため、施策の柱ごとに、関連する施策分野、具体的な施策、施策の基本方向及び取組を設定します。

I 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群など歴史の事実と魅力を国内外に発信するとともに、地域資源を活かした産業の活性化や将来を見据えた都市基盤整備事業を展開し、活力と魅力あるまちづくりを推進します。

【施策分野】

歴史あふれるまちづくりの推進
産業の活性化
都市基盤の整備

II 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

子育て支援、教育環境整備、健康づくりや福祉・医療の充実に取り組むとともに、防災・防犯などへの対応を進め、誰もが安心・安全・健康に暮らすことのできるまちづくりを推進します。

【施策分野】

少子化対策・子育て支援
健康づくりの推進
高齢者が安心して暮らせる体制の充実
障がい者福祉の充実
地域福祉の充実

地球温暖化防止対策・資源循環の推進
生活の安心・安全の確保
消防力の強化
ライフラインの強化
学校教育の充実
生涯学習の推進
生涯スポーツの振興

Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

まちづくりを進める上で、市民の方々の信頼と協働は不可欠であり、市民参画の機会や場の創設など、市民の声が届くまちづくりを進めます。また、多様性を認め合い、平和・人権・男女共同参画に積極的に取り組むとともに効率的で健全な行財政運営を推進します。

【施策分野】

市民協働の推進
人権・平和・男女共同参画の推進
行財政運営力の向上

(4) 計画の期間

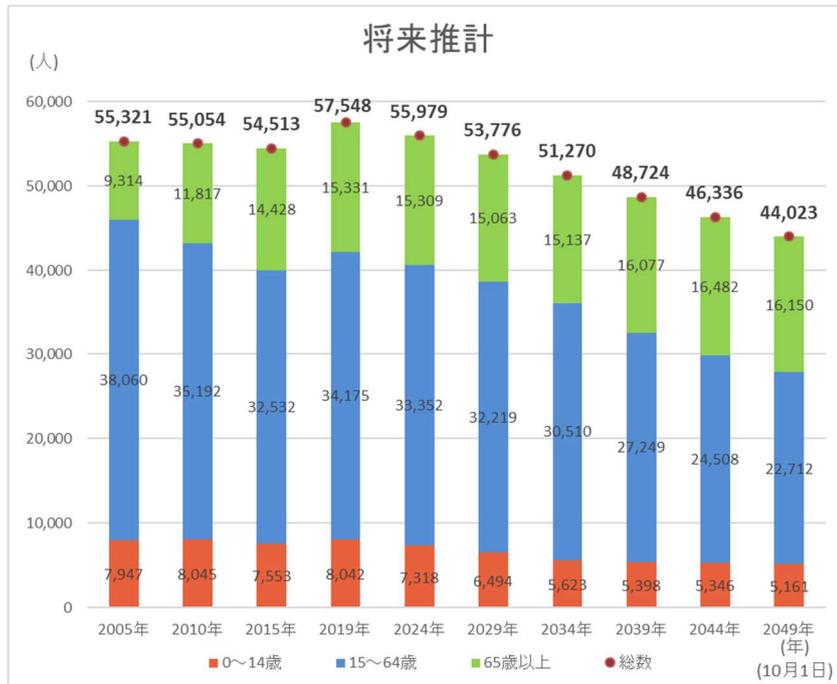
この計画は、まちづくりの課題へ迅速に対応するとともに、次代の発展への礎を築いていくため重点的・優先的に取り組む施策を明らかにし、令和2年度から令和6年度までの5か年度を計画期間とします。

なお、急激に変化する時代や環境の変化にスピード感を持って、しなやかに対応していくため、計画期間内においても毎年、見直しを行うものとします。

【基本フレーム（人口、土地利用）】

本計画を推進していく上で基本となる将来の人口推計と土地利用構想を、次のように設定します。

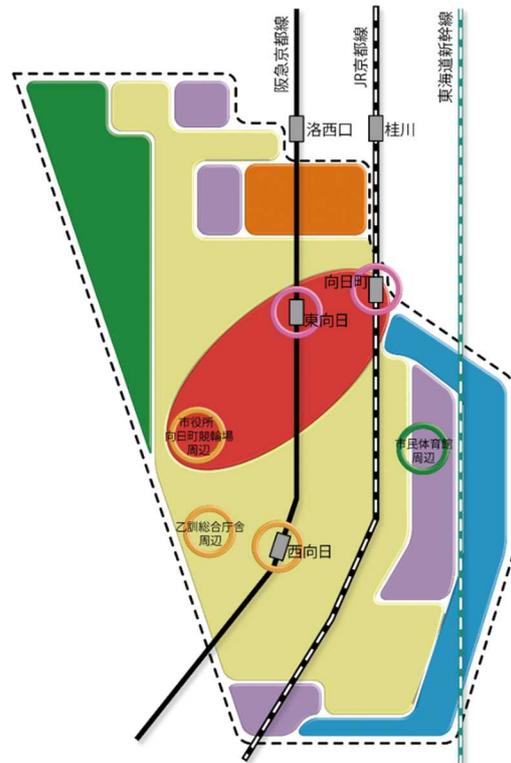
人口



※H22～27 自然動態及び社会移動を基に推計(住民基本台帳人口ベース)(合計特殊出生率については、率増加傾向を考慮し最初の5年間はH25～29 平均1.45 とし、その後H22～26 平均1.33 が続くものとする。)

土地利用

中心にぎわいゾーン	住環境との調和を図りつつ、幹線道路沿いや鉄道駅を中心に商業・業務・サービス等の多様な生活利便施設が集積し、街中を往来する人々でにぎわう市の中心となるゾーン
交流にぎわいゾーン	広域的な商業・業務施設や宿泊施設など、近隣都市や広域からの来訪者のニーズも充足する機能が集積したゾーン
居住地ゾーン	うるおい空間や防災機能の充実した市民が安全で快適に生活できる居住地としてのゾーン
産業ゾーン	京阪神大都市に近く、幹線道路沿道という立地条件を活かした工業・流通業の集積地として、また、新たな産業を創出する場として、本市のものづくりを支えるゾーン
丘陵緑地ゾーン	豊かな自然緑地及び歴史・文化資源を保全・活用し、市民や来訪者のレクリエーションの場としてのゾーン
維持活用ゾーン	都市近郊農業の場として、また、新たな産業（農産業含む）や雇用の場の創出を図る際の余力として、適切な維持管理とまちの活性化に向けた都市的な利用も検討するゾーン



柱 1

歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

〈施策分野 1〉歴史あふれるまちづくりの推進

〈施策分野 2〉産業の活性化

〈施策分野 3〉都市基盤の整備

＜施策分野1＞歴史あふれるまちづくりの推進

施策1 歴史・文化資源の整備と活用

■基本方向

○史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等市内に所在する文化財の保護及び積極的な整備・活用に努め、歴史・文化資源を活かしたまちづくりを推進し、未来に継承します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群の整備 …朝堂院公園来訪者数 【H30：8,455人 → R6：10,000人】	文化財調査事務所
国登録有形文化財旧上田家住宅の整備	文化財調査事務所

施策2 観光振興の推進

■基本方向

○「観る・食べる・買う」を充実させるとともに、国内外から積極的に観光客を誘致し地域経済の活性化を図るため、ハード・ソフト両面での総合的、多角的な観光施策を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
(仮称) 向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施 …来館者数【H30：－ → R6：92,000人】 …向日市観光人材育成プログラム受講者数 【R1：26人 → R6：200人(R1～6累計)】	企画広報課
「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備	企画広報課
土産等特産品の開発 …開発件数【H30：7件(H27～30累計) → R6：30件(H27～R6累計)】	企画広報課
ホテル等の複合型宿泊施設の誘致事業の推進	企画広報課 ／まちづくり推進課
観光入込客数 【H30：510,000人 → R6：765,000人】	企画広報課
観光消費額 【H30：150,000千円 → R6：338,000千円】	企画広報課

施策3 まちの魅力の戦略的発信

■基本方向

○ふるさと向日市に対する理解と愛着を深められるよう、まちの魅力を様々なツールを有効に活用し、戦略的に発信します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
SNS（LINE@、Facebook等）による情報発信力の強化 …LINE@及びFacebookに対する満足度(アンケート結果) 【LINE@ R1：2.92 → R6：3.40、Facebook R1：2.91 → R6：3.40】	企画広報課
「向日市いいところPR隊たけのこりん」による情報発信の充実 …たけのこりんのイベント等への登場回数【H30：0 →R6:50回】	企画広報課
本市に対する市民の定住意向の割合【R1：76.7% → R6：80%以上】	企画広報課

《施策分野2》産業の活性化

施策1 商工業の活性化

■基本方向

○歴史を活かしたまちづくりの施策と連携しながら、向日市商工会や金融機関とともに、商工業者の育成や経営安定を支援する取組を推進し、市内商工業の振興、にぎわいの創出を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
顧客に愛される魅力的な店づくりへの経営支援 …経営指導数【H30：1,400件 → R6：H30実績比10%増】	産業振興課
創業希望者へのきめ細かな支援 …創業件数【H30：3件 → R6：20件（R2～6累計）】	産業振興課

施策2 農業の活性化

■基本方向

○新鮮で安心・安全な農産物を提供するために地産地消を推進するとともに、担い手の育成や新たなブランド農産品の開発支援、農業資源を活用した農商工の連携を推進し、やりがいのある農業経営を支援します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
地元農産物の販路拡大と地産地消の促進 …（仮称）向日市観光交流センターにおける地元農産物の販売・支援 【R2 から実施】 …スーパー等、市内小売店舗での地元農産物販売コーナーの設置 【H30：1箇所 → R6：3箇所】	産業振興課
耕作放棄地の防止施策や放置竹林対策の実施 …市民ボランティアによる竹林保全 【H30：未実施 → R6：2箇所】	産業振興課
農商工の連携による特産品の開発への支援 …特産品の開発 【H30：0件 → R6：2件(R2～6累計)】	産業振興課

《施策分野3》都市基盤の整備

施策1 道路整備の推進

■基本方向

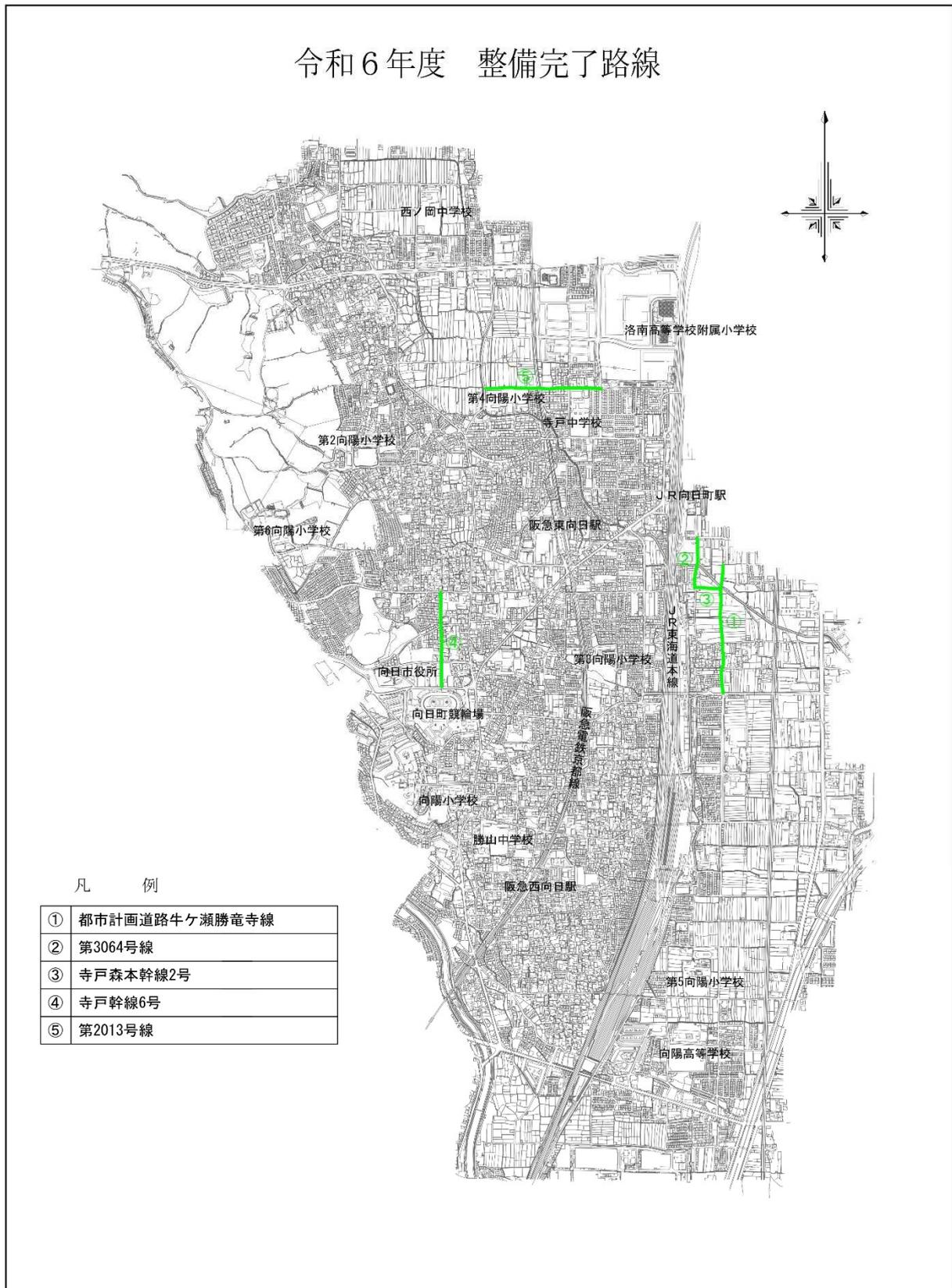
- 都市計画道路や幹線市道の整備を推進することで幹線道路のネットワークを構築し、活力と魅力あるまちを目指します。
- 市民生活に密着した生活道路・細街路の整備を推進することで、安全で快適な住環境づくりを目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
都市計画道路及び幹線市道の整備 …整備路線【都市計画道路牛ヶ瀬勝竜寺線、第3064号線、寺戸森本幹線2号、寺戸幹線6号、向日市道第2013号線（R6）】	道路整備課
生活道路・細街路の整備 …【10路線整備完了（R2～6累計）】	道路整備課
交通安全対策の一層の推進 …通学路【10箇所整備完了（R2～6累計）】 …自転車通行レーンの整備【1路線整備完了（R2～6累計）】	道路整備課
ゾーン30区域の拡大 …【H30：1箇所22.4ha → R6：2箇所30ha】	道路整備課

※図1及び図2参照

図1 令和6年度 整備完了路線



施策2 快適で安全便利なまちづくり

■基本方向

○アクセス拠点の整備等、市民の利便性の向上と産業・観光の振興を図るとともに、都市計画制度を活用した快適で安全便利なまちづくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
土地利用の転換による事業所の誘致事業の推進	まちづくり推進課
幹線道路沿道のにぎわい創出に向けた都市計画変更	都市計画課
ぐるっとむこうバスの利用促進	公園交通課
歴史探索に利用できる公園整備	公園交通課
地籍調査の推進 …地籍整備率【H30:2.5%→R6:10%】	公園交通課
空家等対策計画、空家対策条例の策定	公共建物整備課
地域特性に応じたまちづくり計画等の支援	都市計画課
名神高速道路スマートインターチェンジ開設事業の推進	まちづくり推進課

施策3 駅周辺の都市基盤整備

■基本方向

- JR向日町駅周辺を整備し、駅への利便性や安全性を向上させるとともに、中心にぎわいゾーンへの都市機能の誘導を図ることで、まちの活性化を図ります。
- 阪急東向日駅について、「古都のむこう、魅力のふるさと」にふさわしい整備を行います。
- 阪急京都線の連続立体交差事業の検討を行い、阪急東向日駅周辺の都市基盤整備を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
JR向日町駅周辺整備事業の推進 …東西自由通路・駅前広場の整備 …市街地再開発事業の事業化 …駅周辺における安全対策の調査・検討	道路整備課／まちづくり推進課
阪急東向日駅周辺整備事業の推進	道路整備課
阪急京都線連続立体交差事業の事業化に向けた検討	まちづくり推進課

柱2

人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

＜施策分野1＞少子化対策・子育て支援

＜施策分野2＞健康づくりの推進

＜施策分野3＞高齢者が安心して暮らせる体制の充実

＜施策分野4＞障がい者福祉の充実

＜施策分野5＞地域福祉の充実

＜施策分野6＞地球温暖化防止対策・資源循環の推進

＜施策分野7＞生活の安心・安全の確保

＜施策分野8＞消防力の強化

＜施策分野9＞ライフラインの強化

＜施策分野10＞学校教育の充実

＜施策分野11＞生涯学習の推進

＜施策分野12＞生涯スポーツの振興

《施策分野1》少子化対策・子育て支援

施策1 安心して産み育てることができる環境づくり

■基本方向

○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
幼児教育・保育のベストマッチを推進 …待機児童【H30：72人 → R3：0人】	子育て支援課
病児病後児保育所の開設 …病児病後児保育所数（H30：1か所→R2：2か所）	子育て支援課
子ども虐待の未然防止対策の推進 …家庭児童相談室の機能強化（R1：虐待対応専門員未配置→R4配置）	子育て支援課
放課後児童健全育成事業の推進 …放課後児童クラブ数（支援単位数）【H30：16クラブ → R6：18クラブ】	生涯学習課
乳幼児健診全対象者に子育てに関する支援を実施 …乳幼児健診未受診者の面接割合【H30：72.2% → R6：100%】	健康推進課

《施策分野2》健康づくりの推進

施策1 生活習慣病予防による健康生活への支援

■基本方向

- 市民が主体的に健（検）診を受け、生活習慣の改善等の健康づくりに取り組めるよう支援します。
- 生活習慣病予防と介護予防との一体的な健康づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
特定健診の受診率向上 …受診率（向日市国民健康保険実施分）【H29：47.3% → R5：55%】	健康推進課／ 医療保険課
特定保健指導の実施 …実施率（向日市国民健康保険実施分）【H29：66.1% → R5：65%以上】	健康推進課／ 医療保険課
糖尿病など生活習慣病の重症化予防 …糖尿病の保健指導を実施した割合 【H29：39.3% → R5：60%以上】	健康推進課
長寿健康診査の受診結果を活用した介護予防 …長寿健康診査受診率【H30：52.2% → R6：65%】	健康推進課／ 高齢介護課
がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発 …大腸がん検診受診率【H30：12.1%→R6：14%】 …乳がん検診受診率【H30：10.9%→R6：14.0%】	健康推進課
自発的な健康づくりの推進 …健康ポイント事業参加者数【H30：600人 → R6：1,000人】	医療保険課

《施策分野3》高齢者が安心して暮らせる体制の充実

施策1 地域包括ケアシステム及び認知症施策の推進

■基本方向

○地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの機能強化を図るとともに、認知症に対する市民の理解を深め、認知症の早期発見・早期対応への取組を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
生活支援コーディネーターと協議体の設置による生活支援体制づくり …住民主体で介護予防に資する取組を実施する集いの場の数 【H30：2か所 → R6：10か所】	高齢介護課
認知症高齢者を支える体制づくり …認知症サポーター数【H30：8,000人 → R6：9,500人】 …見守りSOSネットワーク協力事業所(登録事業所数)【H30：108 → R6：130】	高齢介護課
認知症初期集中支援システムによる早期発見・早期対応への取組の推進 …認知症初期集中支援チームの周知媒体数【H30：2 → R6：5】	高齢介護課

《施策分野4》障がい者福祉の充実

施策1 安心して暮らし続けられる共生社会の実現

■基本方向

○障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる施策の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
相談支援体制の強化 …計画相談支援 作成率【H30：100%→R6：100%】	障がい者支援課
地域での生活を支援する福祉サービスの充実 …就労移行支援事業の利用者数【R1：11人→R6：15人】	障がい者支援課
手話言語条例の啓発・推進 …事業所向けの啓発事業【H30：未実施 → R6：実施】	障がい者支援課

《施策分野5》地域福祉の充実

施策1 福祉のまちづくりの推進

■基本方向

○市民一人一人がご近所や地域で助け合い、支え合えるまちづくりを進めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
地域共生社会実現サポート事業の推進 …実施事業所数【R1：2事業所 → R6：5事業所】	地域福祉課
地域の見守りネットワーク事業の推進 …協定事業者数【H30：10事業者 → R6：15事業者】	高齢介護課

《施策分野6》地球温暖化防止対策・資源循環の推進

施策1 持続可能な循環型社会の実現

■基本方向

○ごみの減量化や資源再利用の取組を強化するとともに、地球温暖化をはじめとする環境問題に取り組めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
市役所資源ごみ終日回収ステーションの拡充	環境政策課
家庭ごみの発生抑制及び事業系ごみの排出抑制 …ごみ排出量 【H30：531g/日・人→R6：490g/日・人】	環境政策課
ごみ分別の周知徹底及びごみ袋透明化などの実施	環境政策課
太陽光など再生可能エネルギーの利用推進	環境政策課
市役所新庁舎のゼロエネルギービルディングによる整備 …市役所新庁舎の省エネルギー化	総務課／環境政策課／公共建物整備課

◀施策分野7▶生活の安心・安全の確保

施策1 災害対策の充実

■基本方向

- 自助・共助・公助の連携によりあらゆる災害に対する備えが強化され、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指します。
- 地震や大雨、台風などの災害に対する自助意識の醸成と高揚を図り共助を高めます。
- 情報伝達体制の強化や避難支援体制の整備、避難所運営体制の充実等、災害時の市民の安心・安全を守る取組を推進します。
- 局地化、激甚化する降雨にも対応するため、雨水幹線整備を進めるとともに、既存小規模排水路の改善等により、更なる浸水安全度の向上に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
防災マップの周知 …防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数 【H30：17回・631人 ⇒ R6：20回・700人】	防災安全課
自主防災組織の育成支援及び消防団との連携強化	防災安全課
桂川・小畑川氾濫時などにおける情報伝達体制の強化	防災安全課
要支援者に対する自主防災組織や消防団、民生委員などによる避難支援体制の整備	防災安全課／障がい者支援課／高齢介護課
地域における避難所運営訓練の実施 …訓練回数【毎年1回実施】	防災安全課
災害備蓄物資の分散配備 …配備箇所数【H30：17か所 ⇒ R6：27か所】	防災安全課
土砂災害特別警戒区域対策の推進	防災安全課
浸水対策下水道雨水幹線等の整備の促進 …和井川1号幹線の整備完了【R2：完了】	下水道課
雨水タンクの助成制度の推進 …設置数【H30：13基（実績） → R6：50基(R2～6累計)】	下水道課

施策 2 防犯力の強化

■基本方向

- 地域力を活かした市民ぐるみの防犯運動を推進します。
- 防犯カメラや IoT 技術を活用して犯罪の未然防止を図るなど、地域の防犯力を高めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
地域の防犯ボランティア団体との連携充実	防災安全課
小型電波発信機やスマートフォンの位置情報機能など、IoT 技術を活用した見守りネットワークの構築	防災安全課
通学路や地下道、幹線道路、公園、分別収集ステーションなどへの防犯カメラ整備促進 …防犯カメラ稼働台数【H30：32台 → R6：300台】 …自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数【H30：3台 → R6：13台】	防災安全課

《施策分野8》消防力の強化

施策1 防火体制と救急救助体制の充実

■基本方向

○自主防災組織や消防団活動を支援するとともに、市民一人一人の救急救命に関する知識を深め、技術の向上に努めることなどによって、火災や事故などの災害への対応能力向上を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
自主防災組織や自治会・町内会での消火器設置補助	向日消防／防災安全課
消防団による地域行事における警戒活動の実施	向日消防／防災安全課
救急講習受講の啓発	向日消防／防災安全課
火災警報器等防火機器普及促進の啓発	向日消防／防災安全課
向日消防署新庁舎整備	向日消防／防災安全課

《施策分野9》ライフラインの強化

施策1 上下水道事業の安定経営

■基本方向

- 水道施設の計画的な整備や財源の確保、更なる経営改善に努め、運営基盤を強化します。
- 水道施設を強化し、災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給します。
- 下水道施設の長寿命化を図るため、予防保全型の維持管理を行います。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
水道料金の見直し	営業課
水道管路の耐震化 …重要な管路（基幹管路）の耐震適合率【H30：25% → R6：40%】	上水道課
下水道施設の長寿命化の推進 …マンホール等管路施設の内部の点検及び調査【年間 300 箇所】	下水道課

《施策分野 10》学校教育の充実

施策1 「質の高い学力」をはぐくむ教育の推進

■基本方向

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学力をはぐくむ教育を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 …授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた子どもの割合 【H30：小学4年生（82.9%）、中学2年生（90.6%） → R6：増加】	学校教育課
I C Tを効果的に活用した授業の実施	学校教育課
小中の接続を重視した外国語教育の実施 …英語が好きな子どもの割合 【H30：中学2年生（63.3%） → R6：中学2年生（80%）】	学校教育課
読書活動を通じた創造力・表現力等の育成 …読書が好きな子どもの割合 【H30：小学4年生（69.8%）、中学2年生（66.3%） → R6：80%】	学校教育課

施策2 豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進

■基本方向

○豊かな情操や道徳心を培い、正義感や責任感、規範意識、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度、前向きに挑戦しやり遂げる力など、豊かな人間性や社会性の育成に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 …人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合 【H30：小学4年生（94.9%）、中学2年生（96.0%） → R6：増加】	学校教育課
伝統や文化、芸術に関する教育の推進	学校教育課
ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実 …今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合 【H30：小学4年生（72.4%） → R6：小学4年生（80%）】	学校教育課
環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実 …新聞やテレビのニュースに関心がある子どもの割合 【H30：中学2年生（63.3%） → R6：中学2年生（80%）】	学校教育課

施策3 たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進

■基本方向

- 生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図ります。
- 知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
体力・運動能力の向上 …新体力テストにおける全種別において、全国の平均を上回る (全8種別中、全国平均以上の種別数) 【H30 → R6】 小6：男子7種 女子4種 → 全種別 中3：男子7種 女子5種 → 全種別	学校教育課
食に関する授業の充実等による食育の推進	学校教育課

施策4 一人一人を大切にし、個性や能力を伸ばす教育の推進

■基本方向

- 一人一人をかけがえのない存在として大切にし、その個性を尊重するとともに、その能力と可能性を見出し伸ばす教育を推進します。
- 人権尊重の意識を高め、自分と他者との人権を大切にする児童生徒の育成に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
あらゆる人権問題の解決に向けて、自ら考え行動できる児童生徒の育成 …人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合 【H30：小学4年生（90.1%）、中学2年生（79.4%） → R6：増加】	学校教育課
障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実	学校教育課
授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実	学校教育課

施策5 安心・安全な教育環境の充実

■基本方向

- 児童生徒が安心して通え、楽しく過ごすことができる居場所としての学校づくりに取り組みます。
- 児童生徒の心身ともに健全な発達を促すとともに、安心・安全な教育環境の充実を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
いじめや暴力行為の防止対策の充実	学校教育課
不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実 …不登校の児童生徒の割合 【H30：小学校（1.38%）、中学校（4.33%） → R6：減少】	学校教育課
学校危機管理・安全対策の充実	学校教育課
学校施設個別計画を踏まえた改修等の実施	教育総務課
トイレ改修の計画的な推進	教育総務課

施策6 学校の教育力の向上

■基本方向

- 子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図ります。
- 強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が、明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指します。
- 保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実	学校教育課
教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す教職員の働き方改革の推進	学校教育課
保幼小、小中等の校種間連携・接続の充実	学校教育課
コミュニティ・スクール導入についての検討	学校教育課

《施策分野 11》生涯学習の推進

施策1 生涯学習環境の充実

■基本方向

○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
ふるさと向日市の歴史を活かした講座等多様な学習機会の提供	生涯学習課
社会教育施設の特徴を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の場の充実	生涯学習課/中央公民館/ 図書館/天文館/文化資料館

施策2 家庭・地域社会の教育力の向上

■基本方向

- 家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めます。
- 学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
家庭教育講座の実施等、就学前からの子どもの発達に応じた家庭教育に関する学習機会の提供	生涯学習課
地域学校協働活動の推進等、地域社会の教育力の向上	生涯学習課

施策3 市民文化の振興

■基本方向

- 市民の自主的な芸術や文化活動に対する支援を行うとともに、文化事業の充実を図る等、優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めます。
- 本市の多様な歴史を活かした文化芸術資源を掘り起こし、新たな魅力を創出します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
新たな市民会館を文化芸術振興の拠点として活用	市民会館
文化芸術資源を活かした市民と来訪者の交流の創出 …文化資料館入館者数【R1：15,461人 → R6：19,000人】	文化資料館

《施策分野 12》生涯スポーツの振興

施策1 スポーツの振興

■基本方向

○市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
公益財団法人向日市スポーツ文化協会等との連携によるライフステージに応じたスポーツ活動の推進	生涯学習課
防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討	生涯学習課
成人の週1回以上のスポーツ実施率【R1：**% → R6：65%】	生涯学習課

柱3

信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

＜施策分野1＞市民協働の推進

＜施策分野2＞人権・平和・男女共同参画の推進

＜施策分野3＞行財政運営力の向上

《施策分野1》市民協働の推進

施策1 市民のまちづくり参加の仕組みの構築

■基本方向

○まちづくりの取組及び事業計画の企画・立案段階から市民の意見や意向を把握し、参画できる仕組みを構築します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
誰もがわかりやすく、利用しやすいホームページの作成や広報紙の充実	企画広報課
地域コミュニティの活性化 …自治会加入率【H30：65.5% → R6：増加】	総務課
市民の主体的なまちづくり活動への支援	広聴協働課
「市民と行政における協働のまちづくり」に対する満足度の向上 …【アンケート調査における満足度数値：R1：2.86 → R6：3.00】	広聴協働課

施策2 市民交流の推進

■基本方向

○友好交流を通じた「ふるさと向日市」の再発見につながる事業を展開するとともに、市民が市民交流に意欲を持ち市民同士が自ら交流事業を行えるまちを目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
幅広い分野における都市間交流の推進	秘書課
国際交流を通じた異文化理解の推進	秘書課

《施策分野2》人権・平和・男女共同参画の推進

施策1 多様性を認め合う社会の実現

■基本方向

○市民一人一人がお互いの人権を尊重し合い共に生きることができるよう、人権について、学び、考え、実践していくことにより、人権という普遍的文化の構築を目指して人権教育・啓発事業に取り組むとともに、世界平和都市宣言の理念の実現に向け、平和施策を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
「向日市人権教育・啓発推進計画」の推進	広聴協働課／生涯学習課
京都府や近隣市町村と連携した人権教育・啓発の推進	広聴協働課
平和行動計画に基づいた事業の展開	広聴協働課

施策2 男女共同参画社会の実現

■基本方向

○男女の人権が等しく尊重され、あらゆる場において性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らし活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
女性活躍推進事業の充実 …女性活躍センター団体等登録数 【H30：21 → R6：50】	広聴協働課
ワーク・ライフ・バランスの普及・推進	広聴協働課

《施策分野3》行財政運営力の向上

施策1 健全で持続可能な行財政運営

■基本方向

○将来に渡って安定した行政サービスを行えるよう、変化する社会情勢や多様な市民ニーズに対応できる効果的・効率的な行財政運営を進めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
市役所新庁舎の整備	公共建物整備課
住民票交付場所の拡大と公金納付の利便性向上 …住民票の交付機及び公金収納機設置【令和2年度新庁舎開設に合わせ開始】	市民課／会計課
健全財政の維持	財政課

ふるさと向日市創生計画委員会 委員名簿

	役職、団体等	氏名
委員長	神戸国際大学経済学部 教授	中村 智彦
委員	向日市観光協会 会長	西川 克巳
	向日市商工会 会長	高橋 信吾
	京都府山城広域振興局 副局長	山本 哲司
	京都銀行 向日町支店長	岩崎 克巳
	連合京都乙訓地域協議会 三菱電機労働組合京都支部 執行委員	和田 泰徳
	京都リビング新聞社 編集長	山舗 恵子
	公募市民	松井 恒夫
	公募市民	青山 智圭子
	公募市民	大釜 章代

令和2年1月23日時点